

安全報告書（2015年）

株式会社御嶽リゾート
おんたけ2240



おんたけ2240

ゴンドラリフト「スカイラブ」、第7クワッドリフト、第5クワッドリフト、
第4ペアリフトB線、第4ペアリフトD線、
チャンピオンクワッドリフト（休止中）

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社は「安全の確保」をその企業行動指針の第一として掲げるマックアースグループの一員として、株式会社マックアースの運営方針に従い全ての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんで頂けるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解いただくために公表するものであります。皆様からの声に耳を傾け輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社御嶽リゾート

代表取締役 一ノ本 達己

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、代表取締役以下従業員に周知・徹底しております。

1. 一致団結して輸送の安全確保に努めること。
2. 法令及び関連する規定をよく理解し、これを遵守し、忠実に職務を遂行すること。
3. 推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いに努めること。

(2) 安全目標

索道輸送安全目標(平成 28 年)は次表のとおりです。今年度も索道運転事故(人身傷害事故)の発生はなく、無事終了することができました。引き続き従業員一同、安全意識の向上を掲げ、目標達成に向けて取り組む所存です。

区分	項目	内容
定量的な目標	索道運転事故	発生件数 0 をめざす

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成 27 年度、索道運転事故は 0 件。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

強風による全日運休は、ゴンドラリフト「スカイラブ」延べ 1 日、第 7 クワッドリフト延べ 1 日、第 5 クワッドリフト延べ 1 日、第 4 ペアリフト B 線延べ 1 日で、全索道が強風のため 1 日中運休した日は 1 日ありました。強風による運休とはいえ、利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。

（雨・霧等によるコース閉鎖によるリフト運行停止は含まない）

(3) インシデント(事故の兆候)

平成 26 年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

特になし。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、お客様が安心してリフト(索道施設)をご利用いただけるよう、シーズン営業開始前に施設及び取扱いについての安全教育訓練を実施しています。全従業員の安全意識を向上させるとともに、どのような事態にも対応できるよう、シミュレーション訓練を行っています。

(2) 緊急時対応訓練

毎年、安全教育訓練と併せて全従業員にて救助訓練を実施しています。



(3) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、5年整備計画をたて優先順位に従い随時整備及びメーカー検査、機械のオーバーホール、機械の更新等を行っております。

〈主な整備内容〉

ゴンドラリフト「スカイラブ」

- ・握索機3年解体検査51台
- ・索輪交換80本等

第7クワッドリフト

- ・フード開閉装置点検整備(シーケンサ交換)等

第5クワッドリフト

- ・山頂ばね異常検出装置整備(ロードセル、表示器交換)
- ・制御装置点検整備(シーケンサ交換)
- ・脱索検出装置配線修理等

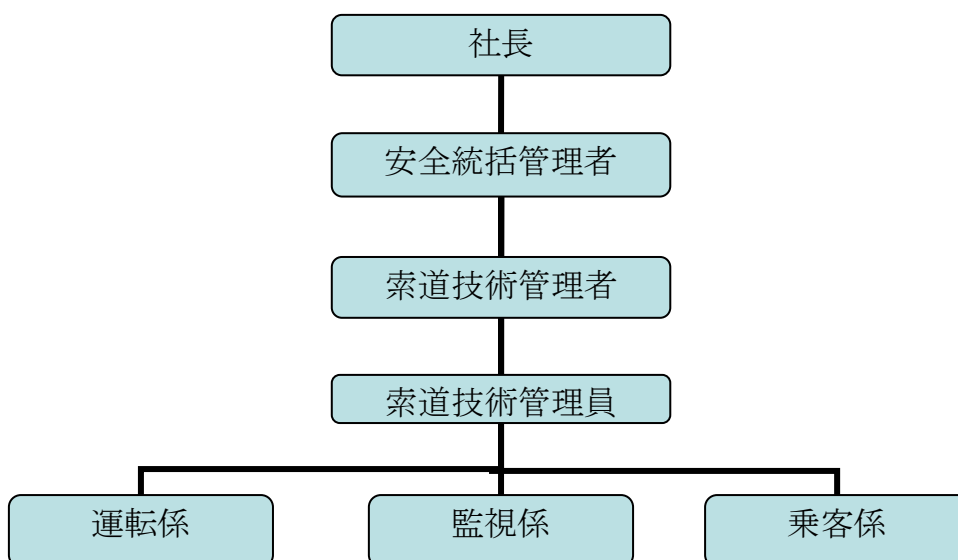
第4ペアリフトD線

- ・握索機スプリングケースOH
- ・乗車規制装置点検整備(近接スイッチ、リレー交換)等



5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。
また、各セクションにおいてミーティングを毎日行い、安全意識の向上を図っている。



社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する

6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 「お客様の声をかたちにしています」

より安全で信頼される索道(リフト)運行を行うため、皆様からお寄せいただいた声を役立てています。お客様の期待に応えられるよう努めて参ります。

(2) リフト乗車時の注意事項

- ① リフト乗車に不慣れなお客様は、係員にその旨を申し出て下さい。
- ② 空き缶・タバコの吸殻・その他の物品を、乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
- ③ 搬器(いす)から飛び降りたり、搬器(いす)を揺らさないで下さい。【脱索(ワイヤーが外れる)事故の要因になります。】
- ④ 衣服・携帯品・髪の毛などが、施設に巻き付かないように注意して下さい。
- ⑤ 改札後は係員の指示に従って下さい。
- ⑥ 止まる、転ぶという最低限の技術がない場合はリフトのご乗車をご遠慮ください。
- ⑦ リフトは緊急停止する場合がございます。また、停止が長引く場合には、救助を行うこともありますので、お子様だけの乗車は避け、保護者の方の同乗をお願いいたします。
- ⑧ リフトの下り線乗車はできません。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。